

山梨県 桃の会

会報 第110号

ちがい

多様性の大事なことや

「ちがい」を認めること・・・言葉での理解はできる
しかし指摘や批判の感情が先行すると
好きか嫌いか、良いか悪いか決めたくなる
様々な価値観が交錯する社会に於て
それらの壁はそう簡単に取り除けそうにもない



何故その人はそのように考えるのか
自分との「ちがい」を掘り下げて知ろうとする
それが自分や周りの人の可能性を引き出すのであれば
「ちがい」はエネルギーの源になる
そのエネルギーを生み出す努力
一人一人がちがった存在でありながら
互いに集まって一つの世界を作る
トランスパーソナルを目指したい

出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

HP <https://momonokai.org> e-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

ピア Voice

求められた生き方から 自分が求める生き方へ



少し前、あるTV番組で不登校の少年の生活の様子が紹介されていた。

少年は食べ物に敏感で学校の給食が原因となり不登校になり家族は何とか学校へ行って欲しいと無理にでも行かせようとしていた。少年はついにお母さんに「それならば自分を殺して欲しい」と訴えたのだ。その時お母さんは自分が子供を追い詰めていたこと、本当に苦しんでいる彼を理解出来ていなかったことに気付かれ「もう 生きていだけでいい、生きていればいい・・・」と大きく価値の転換をされ不登校を受け入れ理解に努力された。それから少年は自分が食べれるパンを作り始め今では何種類かのパンを焼けるようになったという内容であった。

食物に過敏ということがその子にとって「命がいらぬ」というところまで心を追い詰めていくことは想像を越えたやりきれなさを感じる。その辛さを誰かが想像力を持って理解してくれなければその辛さは心の中に広がり続けるだけだっただろう。常識 一般論に当てはめることは出来ない。彼の訴えを命の叫びとして誰かに受け取って貰えた時、彼は救われた思いになったことだろう。食べれない物を食べれるように努力するのではなく、食べれる物は何か・・・それを探すことに転換する事ができるかどうか、
これを食べなければ *こうしなければならぬ* という既成概念を取り外せるかである。
食べれないことは気まぐれや我がままではないのである。

ひきこもる子供を持つ家族や周りの社会も同様で「働かなくては生きて行けない」「このままではいけない」という考え方から抜け出せない人も多いと思う。

家族や周りの人がいつか普通の世界に戻そうとする密かな期待がどこかにあったとしたら「他に求められた生き方」になってしまい結局不安感の強さは残り続け、本当の理解には及ばないだろう。

本当の理解や、理解しよう、知ろうとする事はそんなに簡単なことではない。

しかし「自分が求める生き方」を「そういう生き方もあるね」と誰かが認めて背中を押してあげなければ自分に価値を見出すことが出来ないのである。

自分自身に価値を見だし、自分自身に価値をおけるようになった時「自分の求める生き方」が確かなものとなっていくのではないかと思う。

(hiroko san)

「 つらい くるしい、ありがたい 」 身延山 清水房僧侶 内野光智氏

今回桃の会 10 周年記念講演の 3 回目の講演となります。今回ご講演下さいましたのは身延山の僧侶内野様です。桃の会とは 3 年あまりのご縁になり、毎月会の開催に合わせてお裾分けのお菓子を頂いております。お話し頂きました僧侶になられるきっかけから今迄ご自分が体感し得られた生きたお言葉は、私たちが日々抱えている問題への大事な気付きとなったのではないのでしょうか。最後には沢山の質問にもお答え頂き貴重な時間に感謝したいと思います。

普段の生活が修行

心を鍛えると称して、過度な厳しさや何か特別なことを強いるのはなく普段の当たり前の生活の中にこそ修行、学びがあるというお話しでした。毎朝冷水を浴びられるという僧侶としての内野さんの日常はとても真似出来ませんが、私たちの日常も様々に問題を抱え、苦しみが溢れている社会です。その中で一つ一つの問題にどのように向き合い捉えていくか・・・ 今回のテーマ「つらい、苦しい、ありがたい」というお言葉にその事が込められていると気付きました。

つらく、苦しい時、自分の思い通りにならない時どうしても誰かのせいにしたくなるものです。その辛苦をつらい、苦しい、誰かのせいだ と嘆き悲しみずっとその事を心にとどめることは心の停滞を招き益々泥沼に足を取られいくように思います。その辛苦があつてこそ気付かされることが必ずある、その気付きをどのように理解しようとするかは自分自身の心の向け方にあるのではないのでしょうか。辛苦の中にこそ本当の喜びがあるとしたら、テーマの最後の言葉「ありがたい」という感謝に繋がるのだらうと思います。

「諸苦の所因はこれもとなり」

つらい、苦しいの根幹にあるものは「むさぼり」であるという上記の言葉を教えて頂きました。我々の社会は「むさぼりの社会」といっても過言ではないと思います・・・。

そういう社会の中で「あなたはどのように生きていくのですか」という選択をいつも迫られているように思います。自分を優先するのか、他を優先するのか・・・。

温暖化による生態系の変化、自然環境の変化、ロシア、ウクライナ、イスラエル、パレスチナの戦争、今までの歴史を振り返っても「むさぼり」の人間の心が結局人間を不幸にしているということを改めて考えさせられます。ひきこもり現象も「むさぼりの社会にはもうついていけない」という人たちが増えているということかもしれません。「ひきこもる」ことには様々な要因がありますが、時代の流れの中で「ひきこもる」という現象をどのように捉えていくのか、ひきこもる人たちが投げ掛けているメッセージを受け取る側がいかに「むさぼり」の心を捨てて謙虚に聞き届けることができるかではないかと思いました。

(shinohara)

*** 左ページ(P3)に身延山のご案内図を掲載しております。

当事者 Voice



当事者スペースの報告 10月15日(日) 13時~15時 ぴゅあ総合 3F 音楽室

参加者：当事者・経験者(6名) 桃の会関係者(1名) 初参加者(1名)

* スペースにおける内容

今回はまた、ぴゅあ総合に戻りまして、当事者スペースを開催しました。初めての参加の方、また、2,3年ぶりに来ましたと、久しぶりに参加してくれた方もおりました。みんなで近況なども語りながら本日はいくつかのテーマが自然と出て、深い話しも聞くことができました。午前中の講演会に参加して僧侶の方の話しを聞いてきた皆さんもいまして、仏教のお経や思想、お寺などの話しも出ました。食や味覚、珈琲などについて、また自身の若い頃の体調問題や苦しみ、体調が改善した時のエピソードもありました。また、コレクションすることについて、最近の買い物エピソードやこだわっているところの話しも出ました。

** 世話人たちの感想

世話人の米長です。桃の会も10年目に入りまして、当事者スペースに参加してくれた皆さんについて考えると、多くの方が来てくれたなと思います。時々、どうされているかなと考えることがありますが、ここ何回かのスペースで、とても久しぶりに参加してくれた方々とも出会えて、何か「縁」というものを考える時となりました。

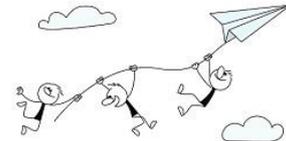
報告 米長



テーマトークの報告 10月7日(土) 福祉プラザロビー

◎ **テーマ：『フリーテーマ』**

◎ **参加人数：6名(当事者3名 親3名)**



いつもお世話になっております。スタッフのたきざわです。

10月のテーマトークでは、主に発達障がいや不登校について話し合いが出来ました。

当事者本人の生きづらさ、親の苦悩、家族内での衝突…様々な視点から読み取れることが沢山あり、障がいがありながらも興味のあることにとことん集中し、そこから自分自身の自主性を育むことの大切さなど大変勉強になりました。

** 11月の活動日程 **

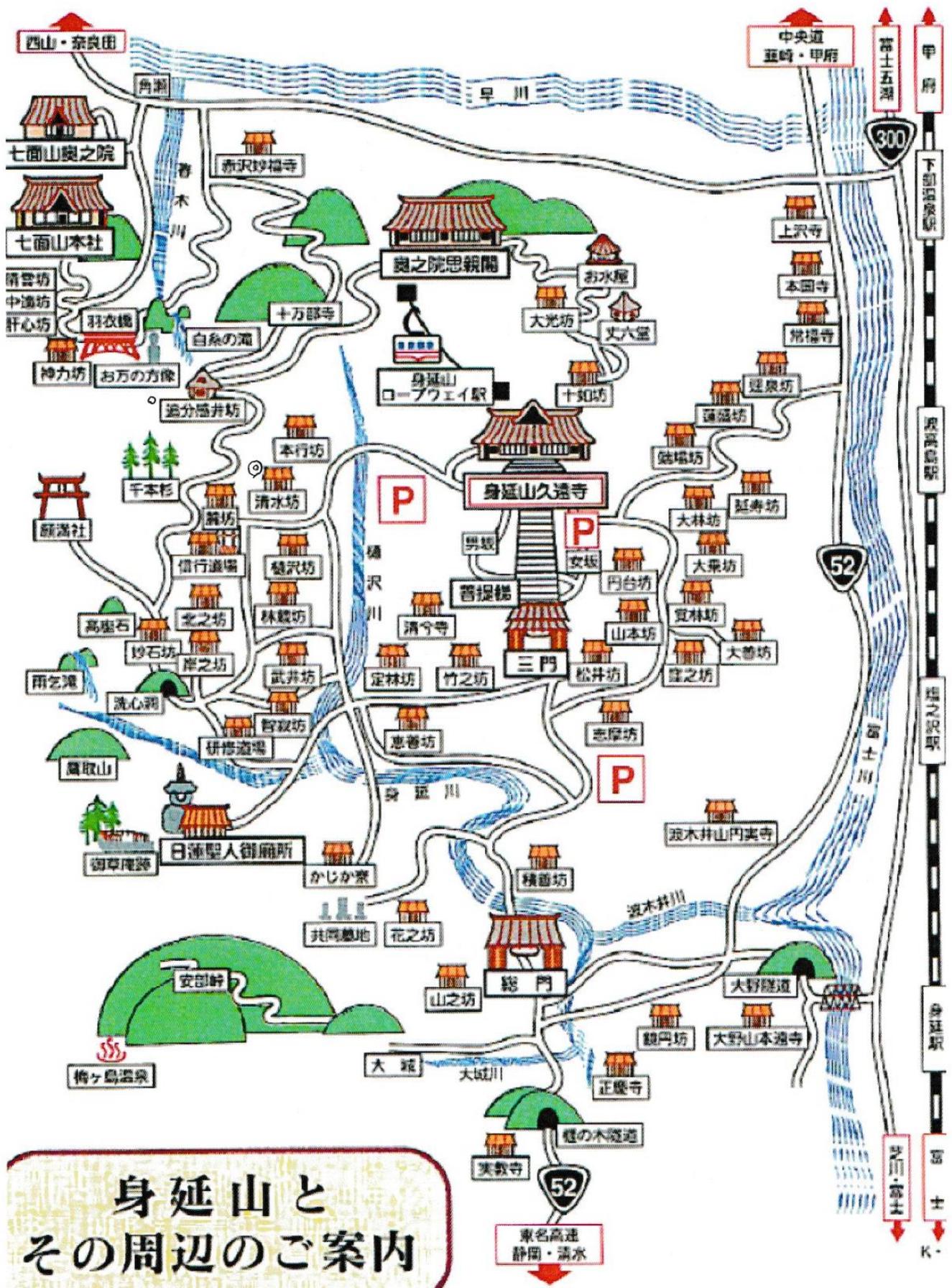
▶ **当事者スペース 11月12日(日) 13時~15時 ぴゅあ総合音楽室 参加費無料**

フリートーク・・・日々の出来事や感じたこと、様々な想いを自由に話します。

▶ **テーマトーク 11月18日(土) 13時~15時 福祉プラザ1Fロビー**

↑日にちが先月の日程から変更になっています！

テーマ『虐待について考える』 お申込み不要です



**身延山と
その周辺のご案内**

東名高速
静岡・清水

富士
K

桃の会 11月の活動



11月は ミニグループトーク、当事者スペース、テーマトークを行います

暦はすでに11月となり朝夕の気温差が身体にこたえる毎日となりました。皆様如何お過ごしでしょうか。季節と季節のつなぎ目がすっかり短くなり四季を感じにくくなってまいりました。

この地球に起きている様々な現象、あらゆる生物の命を支えているこの地球のバランスを何とか育み、守っていききたいものです。

▶ ミニグループトーク 11月12日(日) 10時～ ぴゅあ総合3F 音楽室 一家族¥500

当事者無料

*** テーマ「小さな喜びをさがそう」 ***

グループに分かれてトークします。

喜びも悲しみも苦しみも自分の受け止め方によって違ってくるように思います。

苦しみの中で辛い、苦しいが先行するのは当然のことです。

その中で何とかバランスを保とうともがくのですが、そういう時こそ敢えて小さな喜びを見つけて自分を動かしてみる、本当は喜びの芽は沢山あっても気付かないだけなのかもしれません。

自分を動かす為の自分というハンドルは自分が握っていて、どの道を選びどのように運転をするかは自分しかいないのです。苦しい、思い通りにならない日常から喜びの芽を一つ二つ見つけてみましょう。

トークすることはきっと自分の心の耕しになることでしょう。是非ご参加下さい。

.....***.....

◆ 12月の予定 ■ 講演会 12月17日(日) 10時～ ぴゅあ総合

KHJ 兄弟姉妹の会 ソーシャルワーカー 深谷守貞氏



■ 当事者スペース 12月17日(日) 13時～ ぴゅあ総合

■ テーマトーク 未定



募集しています!! 皆さんの声を募集しております! 日々の想いやちょっとした出来事など大歓迎です。

どうぞお気軽に桃の会事務局のメールアドレスまたはFaxでお送りください。お待ちしております。

お問い合わせ 桃の会事務局 篠原 e-mail / meri-sannokuni@softbank.ne.jp 090-6190-8677

TEL&FAX 0266-78-3742

岩下 e-mail / gunthanksjp@gmail.com 090-4618-6985

Fax 055-285-3199